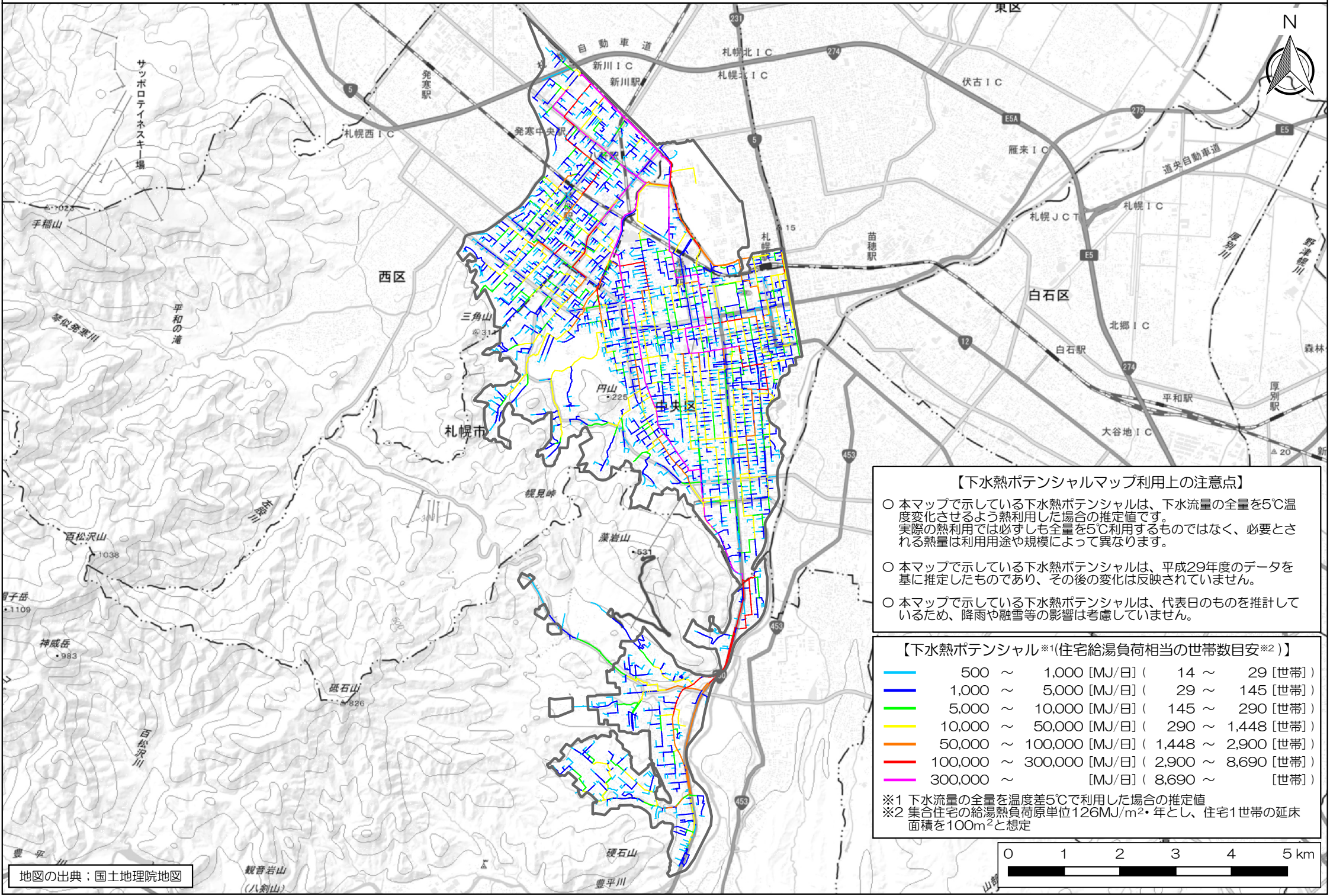


札幌市下水熱ポテンシャルマップ〔新川処理区；通年〕



【下水熱ポテンシャルマップ利用上の注意点】

- 本マップで示している下水熱ポテンシャルは、下水流量の全量を5℃温度変化させるよう熱利用した場合の推定値です。実際の熱利用では必ずしも全量を5℃利用するものではなく、必要とされる熱量は利用用途や規模によって異なります。
- 本マップで示している下水熱ポテンシャルは、平成29年度のデータを基に推定したものであり、その後の変化は反映されていません。
- 本マップで示している下水熱ポテンシャルは、代表日のものを推計しているため、降雨や融雪等の影響は考慮していません。

【下水熱ポテンシャル※1(住宅給湯負荷相当の世帯数目安※2)】

500 ~	1,000 [MJ/日]	(14 ~ 29 [世帯])
1,000 ~	5,000 [MJ/日]	(29 ~ 145 [世帯])
5,000 ~	10,000 [MJ/日]	(145 ~ 290 [世帯])
10,000 ~	50,000 [MJ/日]	(290 ~ 1,448 [世帯])
50,000 ~	100,000 [MJ/日]	(1,448 ~ 2,900 [世帯])
100,000 ~	300,000 [MJ/日]	(2,900 ~ 8,690 [世帯])
300,000 ~	[MJ/日]	(8,690 ~ [世帯])

※1 下水流量の全量を温度差5℃で利用した場合の推定値
 ※2 集合住宅の給湯熱負荷原単位126MJ/m²・年とし、住宅1世帯の延床面積を100m²と想定

